

令和7年度 山梨県立都留高等学校

## 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和8年2月12日（木）15:00～16:30

場所：山梨県立都留高等学校鶴聲ホール

### 1 開会の言葉

### 2 学校長挨拶

- ・学校運営協議会の協力により、教員の負担軽減につながっていることに感謝。
- ・R8 学校運営協議会の規定一部改訂について  
教員の業務量管理、健康管理に関する助言・承認
- ・学校評価アンケートの学校関係者評価への記入お願い

### 3 議事

#### (1) 学校評価アンケートの結果について

- ・全日制より
- ・定時制より
- ・学校評価報告書の作成依頼

委員：都留高校生徒の通塾生はどのくらいか。

学習等でうまくいかない生徒の支援が大事である。教師からの声掛けをお願いしたい。

校長：生徒が望む進路希望を支えることが大事だと考えている。

委員：つる探の教職員の評価が低めなのはなぜか。

「学力重視⇒探究活動」へのシフトの難しさあり。教育の本質的な意識改革が必要だが、今後求められているのは「探求的な学び」の力である。必要に応じたカリキュラムの見直しも必要。

校長：座学と探究は同レベルで考えていて、大切なものである。

委員：後輩に引き継がれている探究活動はあるか。本当の地域振興につながってほしい。小中高連携で探究の縦のつながりも良いのではないか。

校長：ランドセル寄付、大月織物の活用、都留文大生との連携等

委員：地元の人への情報発信は大切。中学校でも「自ら学ぶ姿勢」を求めているが難しい。「課題を持つ」ことが難しい。都留高校の学びにつなげていきたい。相談体制の構築について、特別選抜入学の生徒の様子はどうか。

校長：養護教諭、保健室担当の教務で対応している。

委員：大月市で企画した「富士急線の観光客に英語でインタビュー」の時に参加した高校生の感想について聞きたい。

定時制の生徒が4年間皆勤とか、全国大会出場など成功体験を積みせることは大切。周りへの好影響はあるか。

委員：校舎の古さもだが、トイレの古さへの対応はできないか。

委員：定時制の養護講師が週10時間勤務について、県に改善を求めてほしい。定時制は様々な生徒の受け皿になる大事なものである。

委員：定時制の生徒たちがインターンシップなど社会とつながる経験を進めていくためにも生徒の実態を知りたい。

## (2) 医療の集いについて

・要項通り

補足：医、菅、介護、理学療法士などの多職種への質問も可。

申し込みの Forms に質問等記入してもらえれば、座談会で有効な話ができる。

地域の力を活かしてほしい。

### (3) 拡大いじめ対策委員会

委員：認知は大事なこと。

委員：アンケートの定点測定に上がってこなくても、平素から個人の訴えを拾い上げて早期対応をすることが大切。相談のできるネットワーク作り、教員からの声掛けをお願いします。

## 4 その他

- ・情報交換
- ・所連絡

## 5 閉会の言葉